

東北新報

刊休無中
日新開社
石城郡平井町
電話五七五

社説

平警察署が多年の宿望である郡廳舎跡への移轉はいよいよ達成して来る十日公式の移轉と決定したことは慶賀に堪えない次第である。

社説

平署の移轉祝賀に金二千六百圓を、然も經濟苦に悩むつゝある二十一ヶ町村から強請して馬鹿騒ぎを演ずるんだとして堂々準備するに到りては斷々乎としてその言行を排撃し、その無能、暴戾を憎むものである。

社説

移轉祝賀といふ馬鹿ばやしで踊らうとする平署長荒井君、巡查として古手の才腕家であらうが、その警察官としての存在がどう考へるんだと聞きたくなる。

今夕から明日にかけて

石城地方一帯は大暴

大洪水の恐れあり注意すべし

石城地方に於ける今夕の二十日は九月一日の二十日が近年稀な程平穩であつた關係上大荒れに荒れるものと見られてゐたが案の條午前十時頃から荒れ出し全くの大暴風雨と化した。雨も坪當り一石以上で各河川は可成り増水しており此の雨が止まずに明朝あたり迄續けばまた大洪水はまぬがれぬものと地方民は戦々恐々としてゐる。

繭市況

四倉繭市場に於ける九日の取引状況及び取引買数は九百四十貫三百六十斤取引高は左の如し

高値	六五、〇〇
安値	六〇、〇〇
買馴	六二、七〇

小名濱港の砂さらいは

是非繼續して呉れ
小名濱港は沖合から土砂が流入するため縣では年々數千圓を投じてこれがしゆんせつをしてきたが明年度實行豫算においてこれを打ち切らるゝと云ふので同町およは來る十六日午前十時から關係漁業組合では大いに平町役場で執行

主人の金

千葉縣夷隅郡勝浦町生れ當平町長橋町柏木酒店方雇人佐藤幸治(二三)は昨日午前十時頃店先の金庫より現金百五十圓を窃取して逃走同夜平町鎌田町甲子樓に登樓した大盡遊びをしてゐる處を平署員に逮捕されたが餘罪ある見込で取調中

百五十圓を

平町第三小學校の建具入札日ものなほ五圓四五十錢の値段を往來してゐる譯である。

第三校建具入札

日ものなほ五圓四五十錢の値段を往來してゐる譯である。

丸昇軒

か新聞に會つて載つたことがある。また君のやうに理窟づめに言へば金の輸出も大蔵大臣の許可を得れば出來る譯だから禁止したのではないといふかも知れぬが大蔵大臣が決して許可しない方針なさうだから事實は金の輸出は禁止されてゐる譯である。事實上は絶對的禁止と同様である。

美人の搜索願ひ

東京市下谷區龍泉寺町南田政喜(四一)内縁の妻矢吹サハヨ(二一)は去月末情夫と手にとつて行衛をくらましたか平署管内に入込んだ形跡あるので九日平署に取押へ方願出た

金解禁の話

東北大學 中村重夫

乙—それでわかりました。日本で金が一匁六圓もすると言はれることは不思議な譯だと思つてゐたが成る程……
甲—イヤその譯は斯うだ。日本銀行の銀行券の兌換に關しては法令上は今申した通り何等停止してはゐないのであるが日本銀行はたとひ兌換を請求す

狼狽し前縣議小野晋平氏及び組合長等數名を九日出縣せしめ是非繼續實施して貰ひたいと山内土木課長及び小柳知事に會見陳情した

本縣公私經財緊縮委員會主催のきん縮講演會は十五日平町第一小學校で濱三郡町村長並に地方教化團體員を招き開催

平署の産婆志願

去る五日締切つた分署管内の産婆志願者數は二十六名に達したが十月三、四、五の三日間福島市公會堂で試験を執行の筈

女工の搜索方

石城郡内郷村綴中井政一姪中井タケヨ(一八)は埼玉縣忍野木山足袋工場に勤務中去月末日逃走行衛を働ましたが實家に戻つた形跡あるので木山は九日平署に取押へ方願出た

西洋料理 丸昇軒

電話四三九番

ヒゲ先生 (四)

旅がらす

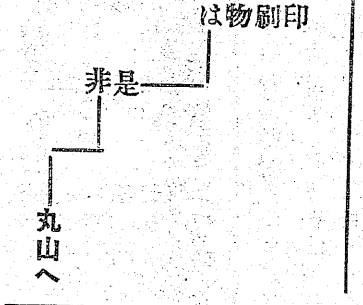
大演説はとんでもない。菊地武光が会場に及んでヤツト終局を告げた。終局だと云つてもそれは此方の推量だけで、先生は依然壇上からいげいしてゐる。「武光しと云ふ悪者(?)が無理にしと云ふを牢屋にぶち込んだ事に聞える。最初は先生の羅唇は一文字にキユットと引幕に胸を治やした生徒連中もこゝらでやつと胸を撫でる。先生は生徒を叱るのでなく、今では完全に引離して胡麻化しを罵つてゐる。胸を張つて大きなささだの。胡麻化しこそい、炎は實に堂々たるものだ。『月光淡く鐵窓に』と美難だ。そうして××には却つて同情の語氣に變つて了つた。月光淡く鐵窓に射す時靜かに過去の自己を省みたの××胸中、定めし感慨無量であつたに違ひない。生徒は次第に胡麻化し事件まで忘れかけて、一同は鐵窓の下に呻吟してゐる××の姿を頭に浮かべる、立派な画だ。

『ところで……』先生は一寸口を切つて茲で思案する。分別なく家を飛び出して旅へ出てから、さて自分は何處へ行くんであつたかなあ?と云ふ表情だ。即ち己の話の筋は何んだつて?とやつてゐるらしい。

やがてしばらくしてからまた日を開いた。

『ゴ麻化しは實に悪い!ほんとに悪い!かゝるろう劣なる手段を今後弄してはいけぬ。男は眞に男らしい行爲をなすべしだあの九州が生んだ眞男子武光の如くなれ』

×××で火の手の揚つた



大演説はとんでもない。菊地武光が会場に及んでヤツト終局を告げた。終局だと云つてもそれは此方の推量だけで、先生は依然壇上からいげいしてゐる。「武光しと云ふ悪者(?)が無理にしと云ふを牢屋にぶち込んだ事に聞える。最初は先生の羅唇は一文字にキユットと引幕に胸を治やした生徒連中もこゝらでやつと胸を撫でる。先生は生徒を叱るのでなく、今では完全に引離して胡麻化しを罵つてゐる。胸を張つて大きなささだの。胡麻化しこそい、炎は實に堂々たるものだ。『月光淡く鐵窓に』と美難だ。そうして××には却つて同情の語氣に變つて了つた。月光淡く鐵窓に射す時靜かに過去の自己を省みたの××胸中、定めし感慨無量であつたに違ひない。生徒は次第に胡麻化し事件まで忘れかけて、一同は鐵窓の下に呻吟してゐる××の姿を頭に浮かべる、立派な画だ。

『ところで……』先生は一寸口を切つて茲で思案する。分別なく家を飛び出して旅へ出てから、さて自分は何處へ行くんであつたかなあ?と云ふ表情だ。即ち己の話の筋は何んだつて?とやつてゐるらしい。

やがてしばらくしてからまた日を開いた。

『ゴ麻化しは實に悪い!ほんとに悪い!かゝるろう劣なる手段を今後弄してはいけぬ。男は眞に男らしい行爲をなすべしだあの九州が生んだ眞男子武光の如くなれ』

×××で火の手の揚つた

緊縮と輸入防濁
純國産品で正確堅牢なるセイコー腕時計を皆様に切にお薦め致します

◎宣傳の爲め抽籤特賣

一等 復興債券(額面百圓) 六十本
二等 蓄音器(市價七十五圓) 二百二十本
三等 置時計(市價八十圓) 三百本
四等 目覺時計(市價五十圓) 五百本
五等 机上時計(市價二十圓) 一千五百本

期日十一月三十日まで 空籤なし
平町三丁目

特約店 大谷時計病院
電話十九番

御求めに成るなら
確實なる商品
平町四丁目

時計 蓄音器 眼鏡
會田時計店
電話三三六番

時計の修繕は正確にお直し致します

現代醫藥界の驚異
飲まずに治るコリサ浸透療法
肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神經痛治療薬

外用 コリサ

論より證據百聞一見に不如
醫學博士 内野先生實驗 醫師 吉松先生發見
定價 金四拾五錢、金九拾錢 送料 内地十二錢
特大瓶醫家用 二圓七十錢 海外四十五錢
平町一丁目

特約店 大平屋藥舖
電話六四二番

回實感希望者は郵券廿錢封入左記本舖へ申込あれ
試用薬と浸透療法の小冊子を郵送す
大阪市此花區吉野町一丁目 吉松醫院製劑部

秋帽子とワイシャツ
玉屋洋品店
平町田町通り
電話六五六番

常磐線平町四丁目花信

附屬品卸 山光堂
自轉車 自轉車
葬儀社
電話五五〇番

磐城共濟病院組織
院長 醫學博士 難波
內科部長 醫學博士 中西
外科部長 醫學博士 林
外科部長 醫學博士 皮瀆
皮膚泌尿科 醫學博士 桂重
婦人科部長 醫學博士 松枝
產婦人科部長 醫學博士 松枝
耳鼻咽喉科 醫學博士 井上俊次郎
部長 醫學博士 渡部貞助
主任 醫學博士 藤波
主任 醫學博士 難波

衛生試驗所 醫學博士 中藤慶
衛生試驗所 技師 小西英夫
藥局 局長 吉本孝平
本院醫事法制囑託法學士 岡澤忠治

本院主管 賀澤

一、衛生試驗所 (共濟病院內)
二、病氣相談所 (共濟病院內)
一、救療所 (共濟病院內)

救療を申込る、方は當相談所へ御話し下さい

電話六四二番 磐城共濟病院
看護婦見習募集

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平五丁目
和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番一三九番

別府温泉より生れた
の靈藥
溫泉エキス 五拾錢
壹圓

皆様是非お試し下さいませ
此外用溫泉エキスは今迄且つて世の中に無かつた
神秘的の妙藥であります連續使用しまして
も副作用がありませんの効力が確實な事とは他
藥品の比ではありませぬ
萬病に靈効ある別府礦水 定價一圓
平町五丁目

特約店 山野邊藥局
藥劑師 山野邊東次郎

養蠶用寒暖計 農藝消毒藥各種

外科 一般外科
婦人科
泌尿科

内科 醫學士 海津俊一
主任 木下寅一
院長 新妻由五郎
平町田町
赤心堂病院
電話四七五